

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成23年8月5日
【四半期会計期間】	第104期第1四半期（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）
【会社名】	三櫻工業株式会社
【英訳名】	Sanoh Industrial Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 竹田 陽三
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区渋谷二丁目3番6号
【電話番号】	03(5766)6641(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員財務管理部長 篠原 良幸
【最寄りの連絡場所】	茨城県古河市本町四丁目2番27号
【電話番号】	0280(33)1121(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員財務管理部長 篠原 良幸
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第103期 第1四半期連結 累計期間	第104期 第1四半期連結 累計期間	第103期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(百万円)	20,713	17,786	79,768
経常利益(百万円)	1,949	824	6,206
四半期(当期)純利益	1,112	508	3,204
四半期包括利益 又は包括利益(百万円)	952	993	2,872
純資産額(百万円)	34,781	37,967	37,323
総資産額(百万円)	67,921	68,219	67,720
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	31.69	13.86	89.21
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	48.4	52.4	52.1
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	1,695	708	8,549
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	1,188	1,196	5,323
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	669	40	408
現金及び現金同等物の四半期末(期末) 残高(百万円)	10,527	10,082	11,939

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。



## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における経営環境は、日本では、3月に発生した東日本大震災の影響を受け、自動車業界の生産活動が制限されました。生産活動は回復基調となっておりますが、原発事故による電力不足にともない大幅な節電が求められ、円高基調も加わり、景気の先行きは不透明な状況となっております。震災の影響は、遅れて海外の生産拠点へ波及しており、予断を許さない状況が続いております。このような環境のなか、当社グループの主力製品である自動車・輸送用機器用配管製品ならびに自動車用樹脂製品は、自動車業界の生産活動の制限を受け、前年同期と比べて生産が大幅に減少いたしました。

その結果、当第1四半期の売上高は、177億86百万円（前年同期比14.1%減少）となりました。利益面につきましては、前期から取り組んできた構造改革によるコスト削減を継続してまいりましたが、経常利益は8億24百万円（前年同期比57.7%減少）、四半期純利益は5億8百万円（前年同期比54.3%減少）と、大幅な減益となりました。

製品別では、車輻配管製品（ブレーキ・燃料配管用等）、エンジンシステム向けのブレイジング製品（燃料噴射用、冷却水循環用、オイル冷却用等）、樹脂製品（クイックコネクター、樹脂チューブ製品等）及び車輻安全製品（シートベルト用）のいずれの製品も、前年同期と比べて売上が減少いたしました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 日本

3月に発生した東日本大震災の影響を受け、取引先自動車メーカー各社の生産制限により、製品受注が大幅に減少いたしました結果、売上高は76億22百万円（前年同期比31.9%減少）、営業利益は1億30百万円（前年同期比89.4%減少）と減収減益となりました。

#### 北南米

米国自動車市場は堅調に推移し、売上高は52億64百万円（前年同期比2.4%増加）、営業利益は2億57百万円（前年同期比47.1%減少）となりました。

#### アジア

タイ、インドをはじめとする東南アジアにおける自動車市場は引き続き堅調に推移し、売上、利益ともに増加し、売上高は26億89百万円（前年同期比19.3%増加）、営業利益は4億17百万円（前年同期比29.4%増加）となりました。

#### 中国

中国自動車市場は引き続き堅調に推移いたしました。円高による為替等の影響を受け、売上高は13億85百万円（前年同期比2.8%減少）、営業利益は50百万円（前年同期比75.5%減少）となりました。

#### 欧州

取引先自動車メーカーからの受注が増加したことにより、売上高は8億26百万円（前年同期比17.0%増加）、営業利益は12百万円（前年同期12百万円の営業損失）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により7億8百万円減少、投資活動により11億96百万円減少、財務活動により40百万円減少などの結果、当第1四半期連結会計期間末には100億82百万円（前連結会計年度末比18億57百万円減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において営業活動に使用された資金は、税金等調整前四半期純利益が8億26百万円（前第1四半期連結会計期間比9億51百万円減）、減価償却費が10億18万円（同24百万円減）、売上債権の増加による資金減が1億62百万円（同3億97百万円減）、たな卸資産の増加による資金減が7億74百万円（同52百万円増）、仕入債務の減少による資金減が11億66百万円（前年同四半期は資金の増加2億25百万円）、法人税等の支払による資金減が7億48百万円（同2億90百万円減）あったことなどにより、7億8百万円（前年同四半期は資金の増加16億95百万円）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において投資活動に使用された資金は、有形固定資産の取得による支出が11億25百万円（同1億79百万円減）あったことなどにより、11億96百万円（同8百万円増）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間において財務活動に使用された資金は、短期借入の増加による収入10億94百万円（同2億91百万円増）、長期借入金の返済による支出7億86百万円（同4億97百万円増）、配当金の支払による減少3億48百万円（同33百万円増）などにより、40百万円（前年同四半期は資金の増加6億69百万円）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、4億7百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	144,848,000
計	144,848,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行 数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年8月5日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	37,112,000	37,112,000	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	37,112,000	37,112,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額(百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日	-	37,112,000	-	3,481	-	2,969

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 430,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 36,660,100	366,601	-
単元未満株式	普通株式 21,100	-	-
発行済株式総数	37,112,000	-	-
総株主の議決権	-	366,601	-

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
三櫻工業株式会社	東京都渋谷区渋谷二丁目3番6号	430,800	-	430,800	1.16
計	-	430,800	-	430,800	1.16

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、当社の監査法人は次のとおり交代しております。

第103期連結会計年度 至誠監査法人

第104期第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間 有限責任監査法人トーマツ



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	12,070	10,213
受取手形及び売掛金	13,347	13,645
商品及び製品	2,856	3,172
仕掛品	2,259	2,451
原材料及び貯蔵品	4,367	4,778
繰延税金資産	424	601
その他	1,384	1,872
流動資産合計	36,706	36,732
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	13,016	13,203
機械装置及び運搬具	39,836	40,532
工具、器具及び備品	6,252	6,490
土地	3,915	3,928
リース資産	199	217
建設仮勘定	1,389	1,533
減価償却累計額	41,704	42,622
減損損失累計額	287	287
有形固定資産合計	22,615	22,995
<b>無形固定資産</b>		
リース資産	113	108
その他	371	350
無形固定資産合計	484	457
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	4,968	4,945
繰延税金資産	2,438	2,517
その他	508	573
投資その他の資産合計	7,915	8,035
<b>固定資産合計</b>	31,014	31,487
<b>資産合計</b>	67,720	68,219

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,303	11,276
短期借入金	4,072	5,243
未払金	1,679	1,432
リース債務	82	89
未払法人税等	919	609
賞与引当金	669	1,218
製品保証引当金	315	300
その他	991	1,227
流動負債合計	21,029	21,393
固定負債		
長期借入金	1,927	1,154
リース債務	160	153
退職給付引当金	7,079	7,351
役員退職慰労引当金	202	202
固定負債合計	9,368	8,859
負債合計	30,397	30,252
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,481	3,481
資本剰余金	2,998	2,998
利益剰余金	30,669	30,829
自己株式	276	276
株主資本合計	36,871	37,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,418	1,402
繰延ヘッジ損益	15	2
為替換算調整勘定	3,023	2,702
その他の包括利益累計額合計	1,619	1,297
少数株主持分	2,071	2,234
純資産合計	37,323	37,967
負債純資産合計	67,720	68,219

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	20,713	17,786
売上原価	16,790	15,209
売上総利益	3,923	2,577
販売費及び一般管理費	1,754	1,762
営業利益	2,170	815
営業外収益		
受取利息	8	18
受取配当金	20	27
その他	47	46
営業外収益合計	75	91
営業外費用		
支払利息	66	52
為替差損	169	11
その他	62	19
営業外費用合計	296	82
経常利益	1,949	824
特別利益		
固定資産売却益	83	2
特別利益合計	83	2
特別損失		
前期損益修正損	1	-
固定資産除却損	68	-
投資有価証券評価損	74	-
減損損失	113	-
特別損失合計	256	-
税金等調整前四半期純利益	1,776	826
法人税、住民税及び事業税	802	407
法人税等調整額	251	228
法人税等合計	551	179
少数株主損益調整前四半期純利益	1,225	646
少数株主利益	114	138
四半期純利益	1,112	508

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,225	646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	420	16
繰延ヘッジ損益	35	17
為替換算調整勘定	111	345
その他の包括利益合計	273	347
四半期包括利益	952	993
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	836	830
少数株主に係る四半期包括利益	117	163

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,776	826
減価償却費	1,042	1,018
減損損失	113	-
のれん償却額	10	-
有形固定資産除却損	68	-
投資有価証券評価損益(は益)	74	-
受取利息及び受取配当金	28	45
支払利息	66	52
有形固定資産売却損益(は益)	83	2
売上債権の増減額(は増加)	558	162
たな卸資産の増減額(は増加)	722	774
仕入債務の増減額(は減少)	225	1,166
その他	786	315
小計	2,768	62
利息及び配当金の受取額	28	47
利息の支払額	64	68
法人税等の支払額	1,038	748
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,695</b>	<b>708</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	1,304	1,125
有形固定資産の売却による収入	96	2
投資有価証券の取得による支出	3	3
その他	23	70
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,188</b>	<b>1,196</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	2,757	2,615
短期借入金の返済による支出	1,954	1,521
長期借入れによる収入	471	-
長期借入金の返済による支出	289	786
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	316	348
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>669</b>	<b>40</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	38	87
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,214	1,857
現金及び現金同等物の期首残高	9,313	11,939
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,527	10,082

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
1. 保証債務 連結会社以外の会社の金融機関からの借入に対する保証債務は下記の通りであります。	1. 保証債務 連結会社以外の会社の金融機関からの借入に対する保証債務は下記の通りであります。
従業員 5百万円	従業員 4百万円
<hr/> 計 5百万円	<hr/> 計 4百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年6月30日現在)	1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年6月30日現在)
現金及び預金勘定 10,658百万円	現金及び預金勘定 10,213百万円
預金期間が3ヶ月を超える定期預金 131百万円	預金期間が3ヶ月を超える定期預金 131百万円
現金及び現金同等物 10,527百万円	現金及び現金同等物 10,082百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当金 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年 5月10日 取締役会	普通株式	316	9.0	平成22年 3月31日	平成22年 6月7日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当金 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年 5月13日 取締役会	普通株式	348	9.5	平成23年 3月31日	平成23年 6月6日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	11,188	5,140	706	1,425	2,254	20,713	-	20,713
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,122	33	-	65	-	3,220	3,220	-
計	14,310	5,173	706	1,490	2,254	23,933	3,220	20,713
セグメント利益 又は損失( )	1,223	486	12	204	322	2,224	54	2,170

(注) 1. セグメント利益の調整額には、のれんの償却額 10百万円及びたな卸資産の調整額 47百万円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産の減損損失に関する報告セグメント別情報)

(単位:百万円)

	日本	北南米	欧州	中国	アジア	合計
減損損失	113	-	-	-	-	113

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。



当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	北南米	欧州	中国	アジア	計		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	7,622	5,264	826	1,385	2,689	17,786	-	17,786
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,986	27	-	130	-	3,143	3,143	-
計	10,608	5,291	826	1,515	2,689	20,930	3,143	17,786
セグメント利益	130	257	12	50	417	865	50	815

(注) 1. セグメント利益の調整額には、たな卸資産の調整額 55百万円が含まれております。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	31円69銭	13円86銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,112	508
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,112	508
普通株式の期中平均株式数(千株)	35,081	36,681

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成23年5月13日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....348百万円

(ロ) 1株当たりの金額.....9円50銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成23年6月6日

(注) 平成23年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月 5日

三櫻工業株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 芝田 雅也 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 沼田 敦士 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている三櫻工業株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、三櫻工業株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### その他の事項

会社の平成23年3月31日をもって終了した前連結会計年度の第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表並びに前連結会計年度の連結財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期連結財務諸表に対して平成22年8月6日付で無限定の結論を表明しており、また、当該連結財務諸表に対して平成23年6月24日付で無限定適正意見を表明している。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。